

○議長（森 弘秋君） これより、村政一般に対する質問並びに提出案件に対する質疑を行います。

通告順に発言を許します。

7番 前原英石君。

○7番（前原英石君） マスクを取って質問させていただきます。

村長の提案理由説明でも言われておりましたが、富山県内において8月20日午後1時に雨が強くなり、富山市の観測地点では1時間47ミリにも及ぶ降水量となりました。

村内の河川でも八幡川、細川で警戒レベル4と発表され、氾濫まであと50センチもない箇所もあったように聞いています。そのような状況に、氾濫や越水に対して大きな不安を感じた河川付近の住民や、稲刈りを目前とした田を持つ農家の皆さんも多くおられたことではないかと思えます。

また、洪水警報が発令され白岩川の水位も一時避難判断水位を超え、白岩川に接した低地に建つ団地の住民や、ふなはし荘の職員、入所者も気が気ではなかったと思えます。幸いにも、一部水路の溢水が確認されたものの、住宅への被害はなかったとのことで安心しました。

しかし、警戒レベル4と発表された細川の護岸が一部崩れました。あの強い雨がもう少し降り続けていたらと考えると、いま一度災害に対する備えを見直す必要があると考えます。

そこで、今回の一般質問は、これに関して、東芦原地区の開発計画についての質問と、住民に対してのアンケート調査があった舟橋会館の有効活用について質問をいたします。

それでは、最初に東芦原地区の開発計画について質問いたします。

この件については、前回の一般質問やそれ以前にも質問を行っております。どちらの質問に対しても前向きな答弁をいただいていると思っておりますが、全く進展がないように感じております。

そこで、改めて質問をいたします。

東芦原地内の開発計画については、現在、常願寺川公園スポーツクラブでは2期開発について具体的な協議が行われています。これに関して6月議会では、防災拠点としての位置づけ、防災拠点として進めていくための基金の活用等について質問いたしました。

冒頭に豪雨について述べましたが、今回幸いにも甚大な被害は出ませんでした。そ

れは単なる結果に過ぎず、よかった、よかったでは済まされないと思っています。

今年に入ってもそうですが、全国各地で甚大な被害が出ている自然災害は、防災や減災のためのインフラ整備だけではなく、住民にとって安心・安全、そして生命、財産を守れるとは言い切れません。

そこで、防災拠点の早期整備についての考えをお聞きします。

今後2期開発を進めていく上で、まず範囲を都市公園として位置づけし指定して整備していく必要があると思いますが、指定についての考えは。

位置づけを行うには、第1段階として総合計画の変更が必要なのではないのでしょうか。マスタープランの変更についての考えは。

これまで防災を中心にして話をしてきましたが、県内でも幾つかの自治体で防災拠点を含み複合施設の建設や構想を立てておられるところもあり、1年を通して人の集まる拠点としても考える必要があると考えます。それについてはどのように考えられますでしょうか。

財政的には、基金だけではなく、様々な国の補助金や交付金も十分に活用するために検討委員会等の設置と、それと同時に、村と常願寺との開発協議会の設置も必要と考えますが、それについてはどのようにお考えでしょうか。

いずれにしても、今後、今回のような豪雨によって一時避難判断水位を超え、住民に対して避難指示、避難勧告が発令された場合の避難場所について、現在の舟橋会館、舟橋小学校、舟橋中学校では不都合が多いと言われておりますし、そもそも氾濫が予想される河川付近にあること自体が、本来求められる機能や位置的に不十分で見直しの必要があると思います。

県でも危機管理や防災について広域的な観点から進めていく必要を言っております。舟橋村もそのような観点から広域的な防災拠点として位置づけし、広域としての一翼を担っていく、そんなときに来ていると思っております。

続きまして、2点目として、舟橋会館の有効活用について質問します。

舟橋会館は、開館してから25年以上経過し、開館当時に比べ人口も増加し、新たな住民ニーズ応えていかなければならない時期が来ています。

これまでには、会館についての意見や改善を求める住民の声も多くあったように聞いております。それを改善するために、これまで会館の在り方について、当局担当者より何年も前から、外部委託、指定管理者制度による運営委託、コンサルタントによる調査、

提案、また細かなことを言えば、風呂や旧トレーニングルームの利用率向上や新たな利用方法などについて説明を受けてまいりましたが、それはその都度内容が変わってきておりました。現在まで、どれもが提案止まりになっていると感じています。

そんな中で、本年度、会館についてアンケート調査が実施されており、その結果が気になるところであります。

結果を十分に分析し、施設整備や運営方針をまとめ、幅広い住民ニーズに応えた会館運営を行っていただけるよう協議を重ね、提案されることを期待します。

そこで、幾つか要点に分けて質問をいたします。

多くの住民に愛される施設としての会館運営とはどのようなものかお聞きします。

ネットを活用した利用申請についての考えは。

新たな講座の開設についての予定はありますでしょうか。

施設の利用率向上対策についての考えはありますでしょうか。

老朽設備の改修、更新についてはどのようにお考えでしょうか。

最後に、村長が唱えるミニ児童館構想はどのようなものなのか説明をいただきたいと思えます。

以上で質問を終わります。

ありがとうございました。

○議長（森 弘秋君） 村長 古越邦男君。

○村長（古越邦男君） 7番前原議員さんのご質問にお答えをさせていただきます。

まず、東芦原地内の開発の計画についてであります。

6月議会終了後に、村及び常願寺川公園スポーツクラブの担当者が県の都市計画課と打合せを行い、社会資本整備総合交付金や防災安全交付金の対象となる可能性はあるが、前提条件として都市公園である必要があるとの回答でありました。

都市公園とは都市計画決定を受けて設置されるものであり、設置基準については政令等で市町村の全区域における住民1人当たり10平米以上とされております。本村の人口で計算いたしますと、約3万平米、3ヘクタール以上が必要となります。現在村内にある都市公園は京坪川河川公園と児童公園があり、合計で約3.5ヘクタールございまして、面積要件は既に満たしております。

新たに都市公園を設置する場合には、総合計画等の上位計画で整備の方針を位置づけたり、都市計画審議会による審議等が必要となります。

舟橋村におきましては、浸水等による避難場所が課題であり、対応できる施設等の整備の必要性については重々認識しているところではございますが、都市公園として指定した上での整備が適切なのか、議員ご指摘のような他の補助金等が活用できないか検討してまいりたいと思っております。

また、常願寺川公園スポーツクラブと今後の計画について8月4日に打合せをさせていただいており、現在の計画案について説明を受けました。現時点ではクラブ側の構想段階にとどまっているため、村としてどこまで整備に関わるのかといった部分の整理も必要であることから、9月議会以降も定期的な打合せを開催し、方向性を検討してまいります。

その方向性が決まれば、議員ご指摘のような協議会の設置や用地取得につきましても検討課題に挙がってくるものと考えておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

次に、舟橋会館の有効活用についてのご質問にお答えをいたします。

舟橋会館は村の生涯学習の拠点として、村民が憩う福祉センター、サロンとして平成6年4月にオープンし、今年で28年目を迎える施設でございます。開館当初はトレーニングルームやカラオケ設備なども備えておりましたが、設備の老朽化等により撤去された物も多くあるほか、現在も利用申請は紙ベースで行っているなど、時代に合った整備が必要かと考えております。

まず、舟橋会館につきましては、村民の皆様から様々なご指摘やご意見をいただいております。皆様のニーズに合った運営ができるようアンケート調査を実施し、住民ニーズの把握を進めているところであります。あわせて、役場職員の研修でも「村が必要とするサードプレイス コミュニティの拠点づくり」というテーマで年内に提案を村に提出する予定であり、多くの住民に愛される施設としての運営ができるよう努めてまいりたいと考えております。

また、議員ご指摘のネットを活用した申請につきましても、施設の更新と対応する職員の研修を実施した上で、早期に実施できるよう進めてまいります。

新たな講座の開設につきましては、自主サークル運営として書道教室やオカリナ教室、パッチワークや絵手紙教室等が現在開催されておりますが、アンケート調査の結果を見た上で、新たな講座の開設やイベントの開催、生涯学習の拠点として各種団体との連携を強化し、利用率を向上させてまいりたいと考えております。

施設の老朽化に対する対応といたしましては、屋上の防水工事や浴場のボイラー修繕、調理室の改修など、老朽化に対応する工事を実施してきており、来年度には空調の改修工事を計画しております。

私が3月議会で述べたミニ児童館構想につきましては、現在、習い事に来ている子どもたちの居場所づくりとして行っている見守り事業を、来年度から、さくらんぼくらぶで実施している駄菓子屋事業と連携し、子どもたちだけでなく、子育て世帯や高齢者が一緒に楽しめる環境づくりを行う予定としております。

詳細につきましては、今後、関係団体との協議が済み次第、議会にご報告させていただきたいと考えております。

このような方針で、舟橋会館が新旧住民の交流や子どもから高齢者まで幅広い世代に愛される施設となるよう検討を進めてまいりたいと思いますので、議員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。答弁とさせていただきます。